

緩和ケア病棟のご案内



独立行政法人国立病院機構
近畿中央呼吸器センター

緩和ケア病棟とは

がんに伴う痛みや不快な症状、気持ちのつらさを和らげ、毎日を大切に生活していただくことを目的とした全室個室の病棟です。

緩和ケア病棟の理念

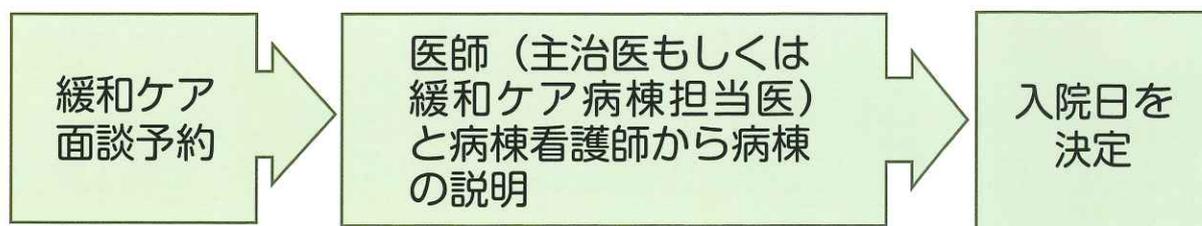
患者さん・ご家族の“からだ”や“こころ”のつらさを和らげ、自分らしさを大切にして過ごせるようチームで支えています。



緩和ケア病棟の特徴

- 必要な検査・処置・治療は患者さんにご家族と相談しながら行います。
- がん診療・緩和ケアに携わる専門スタッフが連携して、きめ細やかなケアを行います。
- 患者さん・ご家族の希望に沿うよう、地域のかかりつけ医や訪問看護師、ケアマネージャーと連携し、病状が落ち着いている場合は、退院して自宅療養していただくことも可能です。
- ペットの面会と飲酒は事前許可が必要ですが可能です。
- 入院費用は医療保険が適応されます。
- 面会や付き添いに関しては病棟スタッフにご確認下さい。

入院までの流れ



緩和ケア病棟のチーム医療

主治医、看護師、その他の医療スタッフがチームを組んで、患者さんの苦痛を和らげ、自分らしい生活を維持できるようサポートしていきます。



看護師

緩和ケアに関する専門的な知識や技能をもって支援します。



医師

がんに伴う様々な症状をやわらげます。



患者さん・ご家族



薬剤師

痛みなどの症状をやわらげるための薬についての助言や指導を行います。



ソーシャルワーカー

生活面や医療費など経済面での問題について相談を受けたり、社会的サービスや住宅医療を受けるための支援を行います。



栄養管理士

食事の献立や食事形態などの助言を通して、食生活に関わる問題に対応します。



リハビリ専門職

(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など)

身体の機能を最大限に利用し、安全に生活できるようにするためのリハビリテーションを担当します。



**心理療法士
(公認心理師)**

がんに伴う心の問題（不安、うつ状態など）について専門的に支援します。

緩和ケア病棟でのケア

「あなたらしさ」を大切に

患者さんが大切にしたいと思うことや大切な人たちとの時間をできる限り尊重します。



つらい症状の軽減

体のつらい症状（痛み、息苦しさ、眠れない等）を和らげたり、不安や悩みなどをともに考えていきます。



日常生活のサポート

食事、入浴、排せつなど日常生活の様々な場面でサポートをします。



家族ケア

ご家族は患者さんにとって大切なサポーターですが、悩んだり疲れたりすることもあります。ご家族へのサポートも行っております。
また大切な方をなくされたご家族のサポートも行っています。



四季折々の行事

季節の飾りつけやイベントを行っています。



MEMO



病棟設備・お部屋のご案内

Aタイプ



ユニットシャワー
ミニキッチン
チェスト (テレビ台)
ロッカー (広タイプ)
40型テレビ (無料)
2ドア冷蔵庫
ソファベッド (2人掛け)
テーブル
ハイバックチェア (1人掛け)

Bタイプ



床頭台、
24型テレビ (無料)
2ドア冷蔵庫
ソファベッド (1人掛け)

Cタイプ



床頭台、
19型テレビ (有料)
引出式冷蔵庫 (有料)
スタッキングチェア

全部屋共通
トイレ、洗面台、セーフティボックス (貴重品入)
椅子、Wifi環境

※入院後にお部屋の調整をさせて頂く場合があります。



家族控室 (2室)

ご入院中の患者さんに付き添いなど、
ご家族の方がご利用いただける宿泊・
休憩室です。



浴室

リフト浴がご利用いただけます。
車いすの患者さんでも湯船に
ゆっくり浸ることができます。

談話室

ご入院中の患者さんとの
「和やかなひととき」を
お過ごしいただけるお部屋です。



